

2020年10月9日
日本製鉄株式会社

2020年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定（第26回）」 鉄鋼・非鉄金属部門で第1位を受賞

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、公益社団法人日本証券アナリスト協会が実施する、2020年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定（第26回）」において、鉄鋼・非鉄金属部門で第1位に選定されました。

日本証券アナリスト協会は、証券アナリストが企業のディスクロージャーの質、量、タイミング等の優劣を判断するための客観的な評価基準を策定し、それをもとに、企業の情報開示の促進、向上を目的として、「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」制度を設け、1995年から毎年実施しています。2020年度は18業種、合計299社が対象となりました。

ディスクロージャー
2020年度 優良企業



公益社団法人
SAAJ 日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

本選定の評価基準は、(1) 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス、(2) 説明会、インタビュー、説明資料等における開示、(3) フェア・ディスクロージャー、(4) コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示、(5) 各業種の状況に即した自主的な情報開示の5分野から構成されています。

今回、日本製鉄は、「経営陣のIR姿勢等」の項目で、経営トップによる市場への発信が本格化し、トップマネジメントの考え方がクリアに伝わるようになったとのコメントをいただき、部門第1位の評価を受けました。また「自主的な情報開示」の項目では、サステナビリティ説明会や製鉄所見学会等の実施に加え、決算説明会における注目トピックに関する資料の充実に高い評価をいただきました。総じて、昨年度に比べ、全ての評価基準で得点率が改善し、今回の受賞につながりました。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動（「産業と技術革新の基盤をつくろう」等）を通じて、これからも社会の発展に貢献してまいります。

当社は、適時・適切・公平な情報開示や建設的な対話の更なる充実に努め、持続的な成長や中長期的な企業価値の向上を目指して、当社を取り巻く様々なステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいります。

(リンク)

[公益社団法人日本証券アナリスト協会「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」](#)

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2135, 2146, 2977, 3419